

# 稲毛商店街

(稲毛商店街振興組合)

千葉県千葉市

## ！取組のポイント

地域の核になる！地域交流・地域防災の拠点「あかりサロン稲毛」を建設し、地域コミュニティの担い手としての地位を確立。

## 取組の背景

### 消防庫跡地へのニーズ

稲毛商店街は、2006年から、「一店逸品運動」や100を超える地域団体とつくる「稲毛あかり祭～夜灯(よとぼし)～」など、地域活性化活動に取り組んでいる。これらの活動を通して得た地域コミュニティとのつながりを将来に渡って持続していくため、消防団・自治会・商店街の三者により、消防庫跡地への「あかりサロン稲毛」の建設計画を立ち上げた。

建設にあたって地域住民の意向調査を実施した結果、消防庫跡地に期待する施設として、「散歩や買物の途中で休憩できる施設」34.2%、「地域活動に利用できる多目的スペース」29.7%、「自由に利用できるトイレ」26.1%や、「住民同士が自由に交流できるコミュニティカフェ」24.3%などの施設を求める意見が多く寄せられた。

稲毛あかり祭～夜灯～



## 取組の内容

### 地域住民・文化施設・商店を結ぶ地域交流施設を設置・運営

上記のニーズを踏まえて、2015年3月に地域交流施設「あかりサロン稲毛」をオープンした。

1階を地域のハンドメイド作家の作品を販売する小箱ショップとカフェ、2階をキッチン付きレンタルスペース、3階をダンス用レンタルスペース・地域交流スペースとして運営している。

また、千葉市認定防災井戸や消防車を併設。車庫シャッターには、千葉大学の学生によるシャッターペイントが施されている。

開館から一年、地域の映像プロデューサーによる「稲毛映画学校」といった生涯学習教室の開催や、自治会の会合など、地域の集いの場・憩いの場となっている。

同時に、消防・警察・市政・福祉などの行政各部署との連携を図り、施設壁面に設置した大型ビジョンによる行政情報の発信や各種啓発セミナーを実施している。

また、地域のハンドメイド作家同士の連携を促し、主体的にイベントを開催するなど、商店街を応援する新たなコミュニティづくりにも取り組んでいる。

認知症サポーター養成講座



## 取組の成果

### 地域ネットワークの強化・商店街応援者の創造

これまで商店街活動に関わりがなかった店舗から、「あかりサロン稲毛ができたことで、商店街に関わる接点を持てた」という声が複数挙がっている。同様に、地域住民からも「商店街のイベントに参加したり、買い物をする機会が増えた」という声が少しずつ増えてきている。

あかりサロン稲毛



現段階では、即時的な効果が上がってはいないが、地域内のネットワークが強化され、商店街を利用するだけでなくイベントの手伝いを行うなど応援者が確実に増えていることで、潜在的顧客は増加しており、今後は街の回遊性をさらに高める取組に力を入れる予定である。

また、商店街では、2015年4月に「あかりサロン稲毛」の利用状況と住民の商店街活性化への取組についての意識調査を実施した。その結果では、「あかりサロン稲毛」の住民認知度は88%、利用者の満足度は94%、商店街活性化への取組に対する住民の満足度は38%であった。

今後は、この調査結果を踏まえて、既存の「一店逸品運動」と「まちゼミ」のさらなるレベルアップを図るとともに、地域住民のニーズに合った企画を実施し、商店街活性化への取組に対する満足度の向上に努めていく予定である。

## 実施体制

「あかりサロン稲毛」は、運営方法などについて検討する活性化委員会での意見をもとに、稲毛商店街直営の施設として運営している。

委員会は、商店街副理事長を委員長とし、住民代表や専門家、地域行政関係者を委員として招き、毎月1回開催している。2014年度は「あかりサロン稲毛」の建設、オーロラビジョンの設置及び防犯カメラの設置、商店街街路灯を活用した放送システムの設置など、稲毛商店街の活動に多大なる協力を得ている。

運営スタッフは現在3名（内パートスタッフ1名）であり、稲毛商店街の職員として雇用している。運営スタッフには、「あかりサロン稲毛」の施設運営・管理だけでなく、「地域ネットワークの強化を目的とする地域コーディネーター」の役割を持たせている。

## キーパーソンからのコメント

稲毛商店街振興組合 専務理事  
あかりサロン稲毛 館長  
海宝 周一



### 一番大切なものはコミュニティ

2008年に神戸の長田町の商店街を訪れた際、震災で失った一番大切なものは地域のコミュニティだと教えていただいたことをきっかけに、私たちのコミュニティ防災施設の建設活動が始まりました。商店街が分野の違う消防団・自治会との連携を図り、合同の施設を建設する。そのためには行政の横の連携も図らなければなりません。私たちは自治会長や消防団長とともに足しげく通いました。7年かかりましたが、行政の温かい支援もあって、地域連携の象徴と拠点機能を有した「あかりサロン稲毛」を建設することができました。

### アート・文化にゆかりのあるまちとして

昔、稲毛は関東一円の避暑地として文人墨客が愛したところでした。今でもその名残の文化施設が点在している、アート・文化にゆかりのあるまちです。

私たちが始めた夜灯では、地域の子どもたちに灯籠の作成をしてもらっています。また、地域交流施設「あかりサロン稲毛」では地域のハンドメイド作家の作品を紹介・販売する小箱ショップの運営を行っており、さらに、地域のサークルによる諸活動も実施されています。

今後は、こうした活動を進化・連携させながら、地域に根ざすアート文化を育て、地域と商店街をつなぐ新たなコミュニティを作り上げていきます。

## 基本データ

所在地	千葉県千葉市稲毛区稲毛
人口	約16万人(千葉市稲毛区)
電話/FAX	070-2173-2458 (043-243-9218/043-242-2031)
関連URL	<a href="http://akarisalooninage.wix.com/inage">http://akarisalooninage.wix.com/inage</a>
会員数	37名
店舗数	65店舗(買回り品小売店14、最寄品小売店16、飲食店17、サービス店17、その他1)
商店街の類型	近隣型商店街
主な客層	高齢者、主婦、家族連れ

## 商店街概要

戦前から海水浴・潮干狩りで賑わう東京近郊の避暑地として発展した地域であり、稲毛商店街振興組合は埋め立てによる商業構造の変革に対応すべく1963年6月1日に設立された。京成稲毛駅を中心にJR稲毛駅方面から国道14号線まで約600mの商店街を形成している。ここ数年で、近隣に700戸建てのマンションなどが多く建設され、市外・県外からの転入者は増加しているが、当街区の人口および当商店街への来街者は減少している。一方で、高齢者人口は増加し続けており、新旧どちらの地域住民にとっても魅力ある地域・商店街づくりが急務となっている。